

八丈出張所管内感染症発生動向調査

東京都島しょ保健所 八丈出張所管内(八丈町・青ヶ島村)



【定点把握疾患】2026年 第6週 (2月2日~2月8日)

八丈島 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 1件
COVID19: 3件、インフルエンザ 1件

青ヶ島 インフルエンザ 1件



【東京都全体の状況】東京都感染症情報センター 第5週 (1月26日~2月1日)

- ・4週に再度注意報基準を超えたインフルエンザの定点当たりの報告数は26.67と増加し、警報レベルにある保健所の管轄する人口割合が37.16%となり、都全体の30%を上回り、再度都の警報基準を超えました。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、14.91と前週を上回っています

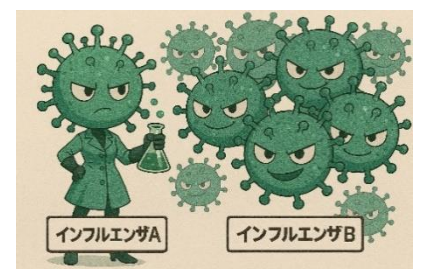
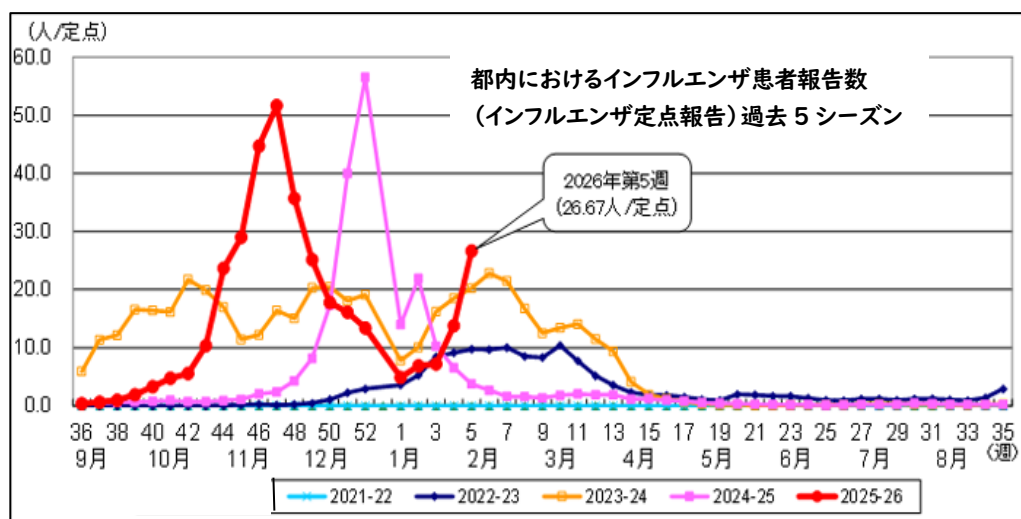
都内のインフルエンザ、再び警報基準を超えました！

都内のインフルエンザ定点医療機関からの第5週(1月26日~2月1日)の患者報告数が**再度警報基準を超えました**。

2025-2026年シーズンは、第45週(11月3日~11月9日)に警報入りし、第2週(1月5日~1月11日)に警報を解除しています。1シーズンに2度、警報基準を超えるのは、1999年に現行の統計開始以来初めてです。

第5週に定点医療機関98施設から報告があったウイルス型は、**約90%(3,165人中2,838人)がB型でした**。なお、今シーズンのインフルエンザワクチンは、B型にも有効です。

比較項目	A型	B型
流行のしやすさ	毎シーズン流行しやすく、国内外で広範囲に流行することがある	毎シーズン一定規模で流行するが、世界的な大流行は起こしにくい
東京都内での流行位置づけ	都内で毎年流行する主要なウイルスの一つ	A型と並び、都内で流行する主要ウイルスの一つ
流行時期の傾向	冬の比較的早い時期から流行することが多い	A型の流行後、冬の後半~春先に増える傾向がある年が多い

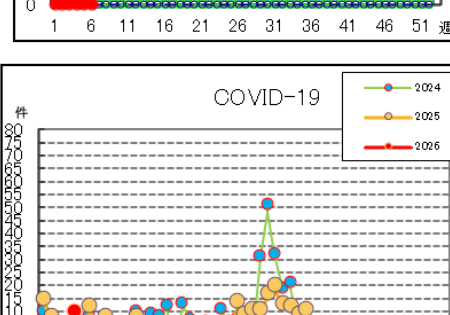
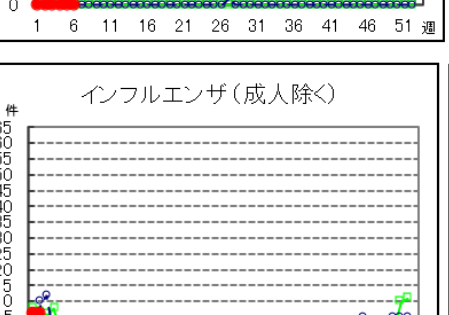
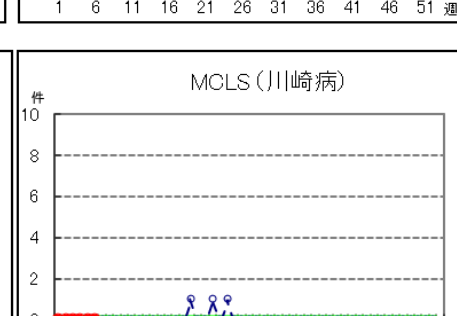
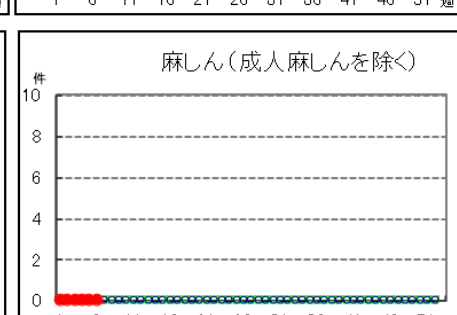
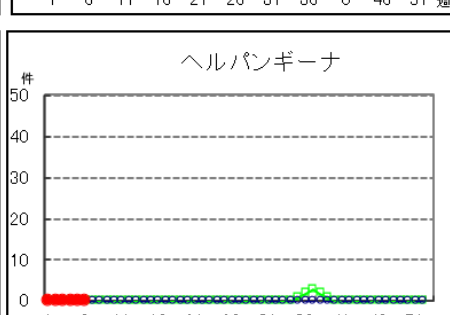
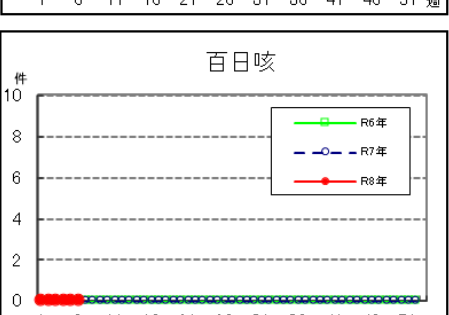
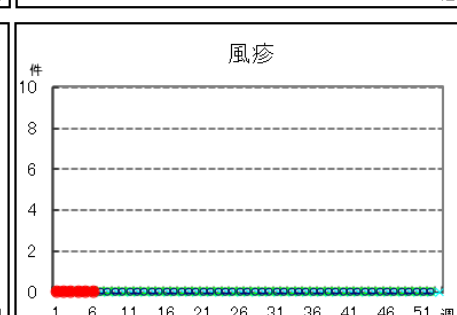
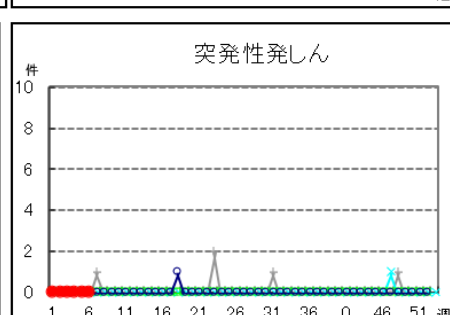
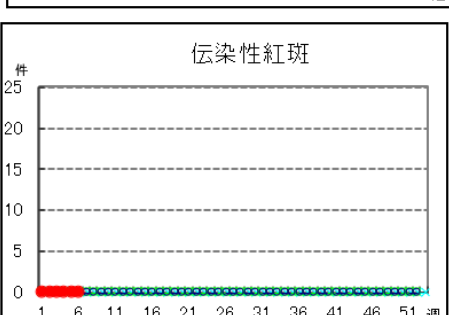
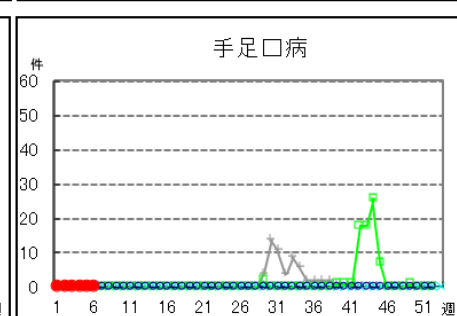
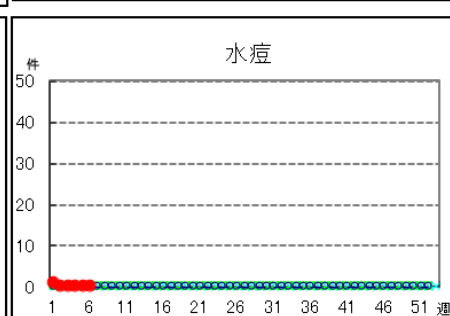
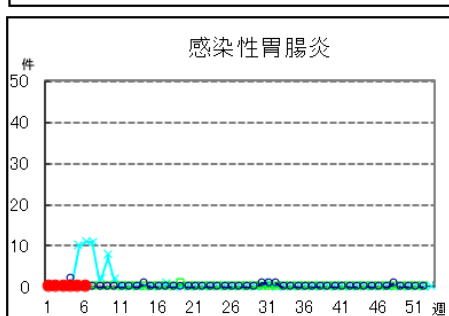
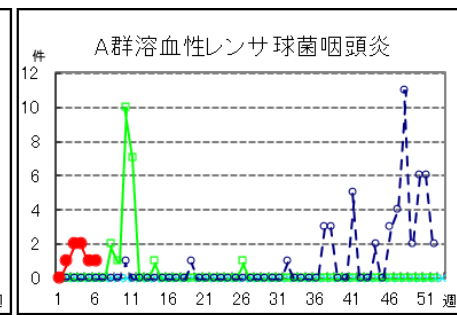
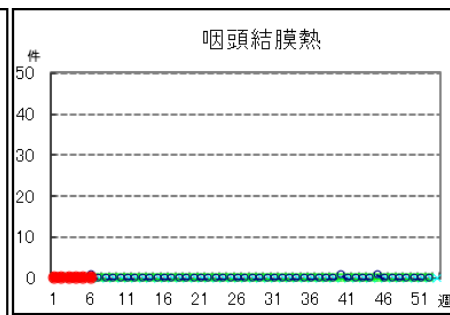
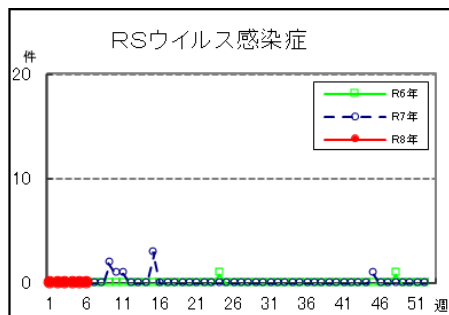


**インフルエンザに
かからない
うつさない**

島しょ保健所では島の11医療機関から感染症の報告をいただき、情報提供をしています。

※八丈出張所管内、東京都(全域)、全国の発生動向につきましては、下記のホームページでもご覧になれます。

- 島しょ保健所八丈出張所 <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shisetsu/jigyosyo/hokenjyo/tousyo/hachijou>
- 東京都(全域)⇒Web版感染症発生動向(東京都感染症情報センター) <https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- 全国⇒国立健康危機管理研究機構(感染症情報提供サイト) <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>
- 厚生労働省感染対策 https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2_1



※感染症発生動向調査は、感染症法に基づき発生状況を把握、分析し情報提供することにより、感染症発生および、まん延を防止することにあります。八丈出張所管内では、町立八丈病院、青ヶ島診療所の2施設の医師の診断に基づき集計しています。

【編集・発行】
島しょ保健所 八丈出張所
電話：04996-2-1291
FAX：04996-2-0632